

2012年8月23日

報道関係各位

ジェットスター・ジャパン株式会社

ジェットスター・ジャパン、大阪(関西)を第二拠点として決定

- ・ 大阪(関西)を第二拠点とし、国内線及び国際線のハブとして強化
- ・ 就航以来、110,000人以上のお客様がご利用
- ・ 関西国際空港および成田国際空港での拠点別人員採用を開始

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:鈴木みゆき、以下:ジェットスター・ジャパン)は、本年10月28日より大阪(関西)を第二拠点とすることを発表しました。大阪(関西)を第二拠点として発着便を増便するほか、国内線及び国際線の新規路線を就航します。ジェットスター・ジャパンは、大阪(関西)を拠点とすることで国内外の旅行者に更なる旅の選択肢を提供すると同時に、直接的および間接的な雇用機会の創出により、旅行業界や地域経済の活性化に貢献します。

ジェットスター・ジャパン代表取締役の鈴木みゆきは、次のように述べています。「ジェットスターグループの国際線ネットワークを最大限生かすことが可能となります大阪(関西)を第二拠点とできることを大変嬉しく思います。ジェットスターは2つのハブ、大阪(関西)および東京(成田)を通じて、お客様に更に多くの選択肢を提供し、国内外の旅行者の『スマートライフ』実現のサポートを継続していきます。」

また、鈴木は次のように語っています。「大阪(関西)は、5年前、日本へ運航する初めてのLCCとして、ジェットスターグループが日本=オーストラリアの長距離国際線を就航した特別な空港です。ジェットスター国内線就航により、旅行者はジェットスターグループのネットワークを通じて容易に国内外の景勝地や有名観光地を訪れることができます。今後は札幌のお客様が、大阪のユニバーサルスタジオに立ち寄ってから、沖縄にダイビングに向かったり、沖縄の旅行者が北海道でのスノーボード旅行に行く途中、「食の都」大阪や京都・奈良といった古都を訪れたり、お手頃な航空券を購入後に旅程を考える『ちよい旅』といった新しい旅のスタイルが普及してくることも予想されます。また、海外からのインバウンド旅客は、大阪(関西)や東京(成田)を経由して、国内旅行をより気軽に楽しめるようになります。つまり、ジェットスター国内線の第二拠点となった大阪(関西)は、旅行業界全体および就航地の地域経済へ様々な好影響をもたらす可能性を持っていると考えられるのです。」

ジェットスター・ジャパンは大阪(関西)をジェットスターグループのハブ空港として拡充し、同空港を起点に国内外の幅広いお客様により多くの旅の選択肢を提供します。今後、大阪(関西)を拠点に以下路線の新規就航を予定しています。なお、2012年国内線冬期スケジュールは、関係当局の認可を前提としています。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 大阪(関西) = 札幌(新千歳) | 2012年8月24日(金)より |
| 2. 大阪(関西) = 福岡(福岡) | 2012年8月24日(金)より |
| 3. 大阪(関西) = 沖縄(那覇) | 2012年10月28日(日)より* |
| 4. 大阪(関西) = シンガポール | 2012年11月1日(木)より** |
- ※※ジェットスター航空による運航

新関西国際空港株式会社代表取締役社長安藤圭一氏は、次のように述べています。「この度ジェットスター・ジャパンが関西国際空港を拠点とし路線展開をされることとなり、新関西国際空港株式会社として大変喜ばしく思っております。お客様にとっては新たなかつ魅力的な旅行の選択肢が増えることとなり、大阪国際空港を含めて関西からの旅の利便性がより高まることで、アウトバウンド旅客の増加、ひいては今後の観光産業や関西経済の起爆剤にもなると期待しております。関西国際空港の完全24時間運用の特性を活用いただき、ジェットスターグループでより豊富なネットワークを展開していただきたいと考えております。」

ジェットスター・ジャパンは、A320新造機3機を運航しており、就航から既に11万人以上のお客様に新しい空の旅を提供しました。7月の座席利用率は85%、お盆期間では89%を超えており、ジェットスター・ジャパンがLCCという新たな選択肢をより身近なものとし、国内旅行において新マーケットの創出に貢献していると想定されます。ジェットスター・ジャパンは今後も、お客様が家族や友人、価値観や趣味をより大切にできる新しいライフスタイル『スマートライフ』の普及に貢献して参ります。

ジェットスター・ジャパンは、2014年未までに導入予定のA320新造機24機のリース契約を締結済みであり、順調に拡大路線を歩んでいます。今後、大阪(関西)および東京(成田)を拠点として拡大を継続するにあたり、両拠点におけるパイロット、キャビンクルー及び空港旅客サービススタッフ等々、積極的に採用活動を継続しています。ご興味ある方は Jetstar.com よりご応募下さい。

<ジェットスターグループについて>

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域において最大の売上高を誇り、最も急速に成長しているロースコストキャリア(LCC)です。ジェットスターグループは日本、シンガポール、ベトナム、オーストラリア、ニュージーランドに航空会社を有し、2013年には香港(関係当局の承認を前提とする)にも設立予定です。ジェットスターグループ全体で、アジアの30都市及び中国の8都市を含むアジア太平洋地域の約60都市に週3,000便を運航しています。2012年会計年度には、ジェットスターグループ全体で1,800万人のお客様にご利用いただけると予想しています。

<ジェットスター・ジャパン株式会社について>

ジェットスター・ジャパンは2012年7月より東京、大阪、札幌、福岡、沖縄間に就航を開始したロースコストキャリア(LCC)であり、2013年中には短距離国際線の運航開始(関係当局の承認を前提とする)を予定しています。国内線就航時には、A320型新造機3機(180席)で運航を開始しており、2014年未までに24機まで増強する予定です。なお、ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリーリース株式会社が出資しています。

※本リリースは、国土交通記者会、国土交通省交通運輸記者会、成田空港記者会・民放クラブ、関西国際空港記者会へ配布しております。